

MERL: 成長へのチームワーク



目次

| | |
|------------------|--------|
| はじめに | 1 |
| グローバル会員増強チーム | 2 |
| MERL チームの構成と目的 | 2 |
| MERL チームの組織 | 3 |
| 戦略的計画サイクル | 4 |
| 目標 - 短期目標 - 行動計画 | 6 |
| チームの発展 | 7 |
| チームとしての活動 | 8 - 11 |
| 資料 | 12 |
| 終わりに | 13 |

はじめに

成長は、歴史に名を残した数々の指導者に共通するテーマです。以下に4人の指導者を紹介します。彼らは将来のために、植物の栽培、新種の開発、植林、古来の珍しい樹木の保護に取り組みました。

- **ジョニー・アップルシード**は、方々を旅して種子や苗木を植え続け、そこから新種の林檎が育っていきました。彼は新たな成長の必要性を認識していたのです。
- **W・アルティ・バーピー**は優れた園芸家で、野菜の新種開発を試みました。彼は種子を生産して販売し、成功した作物から新種を生み出しました。
- **J・スターリング・モートン**は、木々で覆われたネブラスカの姿を夢見ていました。彼は人々に植樹を勧め、自らの構想を語っては同調者を集めました。この活動によって、やがて「植樹日」という新たな記念日と組織が生まれます。この組織は樹木を植えることの重要性を説き、春が来る度にそのための資源を提供しました。
- **ウィリアム・ケント**は、将来の世代のために固有の森林を保存するべきだと考え、土地を購入しました。現在この土地にはカリフォルニア・レッドウッドの巨木が広がり、「ミューアウッズ」として知られています。

MERL チームのメンバーも彼らと同様、地区においてそれぞれの役割を果たそうとしています。彼らは多様な方法で新会員を確保し、新クラブの結成と強化を支援しています。現在および将来の必要に応え、クラブ活動の意義を認識させることで会員維持率を高めています。また、訓練や意欲の喚起によって会員の指導力を育成し、国際協会の将来的な成長を保証しています。個々のメンバーは、ライオンズクラブの会員増強と指導力育成を推進するため、それぞれに異なった方法、異なったグループで任務の遂行に当たります。彼らの技能や動機はさまざまですが、将来に向けて共通のビジョンを分かち合っています。それは、地域社会と国際社会の双方において、ライオンズクラブを成長させ続けるということです。

チームの定義：互いの信頼と協力によって、共通の目的を追求し成果の達成を目指すグループである。

この手引は、MERL チームのメンバーを対象とするものです。彼らは成果を達成するため、共通のビジョンの決定、目標/短期目標の設定、行動計画の立案に協力して取り組みます。効果的な MERL チームは、継続的な会員増強、新クラブの開発、会員維持率の向上、質の高い指導者の育成を通して、国際協会の将来を決定づけることになるでしょう。

グローバル会員増強チーム

グローバル会員増強チーム（GMT）とは、7つの会則地域を代表するライオンズ指導者の集まりです。GMT リーダーは、執行役員との協議の上、国際会長によって任命されます。各 GMT リーダーは3年間の任務を全うすることで合意していますが、それぞれに対し年次業績評価が行われます。

39名の GMT エリアリーダーは執行協議会に直属します。執行協議会を構成するのは、GMT 委員長を務める国際会長、GMT 副委員長を務める第一副会長、さらに第二副会長、前国際会長、会員増強委員長、リーダーシップ委員長、GMT 国際コーディネーター、ライオンズクラブ国際協会国際本部長のほか、9名の会則地域リーダーです。

GMT メンバーの責任には、ライオンズクラブ国際協会のさまざまな会員増強プログラムに関する情報源となることや、地区ガバナーのメンターを務めることのほか、複合地区 MERL チームと協力して会員増強、エクステンション、会員維持、指導力育成のための個別計画を策定し、地区の目標達成に向け、地区に一般的な支持・支援を行っていくことなどがあります。

MERL チームの構成と目的

チーム・メンバー

このセクションでは、チームが果たすべき4つの基本的な役割と、その他の付加的な役割を定義します。MERL チームの主な役割は以下の4点であり、それぞれの責任は主として各委員長が担います。

- 会員
- エクステンション
- 会員維持
- 指導力育成

複合地区または地区のニーズや地域の習慣に基づき、チームにはその他の役割/委員長を加えることができます。チームの付加的なメンバーとしては、例えば以下が挙げられます。

| | |
|---------------|-------------|
| 学内クラブ委員長 | ガイディング・ライオン |
| オリエンテーション委員長 | PR 委員長 |
| 家族及び女性会員増強委員長 | |

チームの4人の委員長（会員、エクステンション、会員維持、指導力育成）は、指定された任務を遂行する専門的な小委員会を設けることができます。小委員会のメンバーは、特定の目標や責任に応じて毎年入れ替わることになるでしょう。

また、ガバナー協議会は複合地区 MERL チームのために、地区ガバナーは地区 MERL チームのために、チーム・コーディネーター（任意の役職）として MERL チームの一員またはそ

MERL：成長へのチームワーク

他の有能なライオン・リーダーを任命できます。チーム・コーディネーターはチームを支援し、メンバー間のコミュニケーションと協力を促進します。

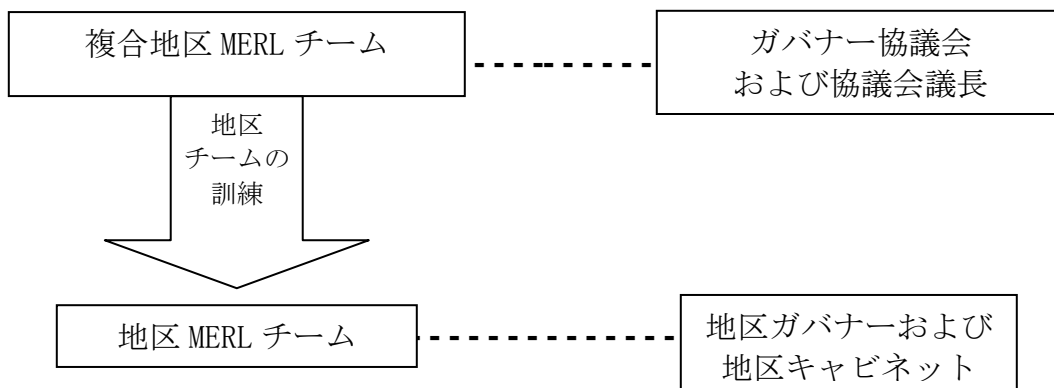
MERL チームの組織

理事会方針書には、ライオンズクラブ国際協会の組織が詳しく示されています。その記述に従えば、MERL チームには2つのレベルが存在し、それぞれのチームは他のライオン・リーダーと協力して任務を遂行します。

| チーム | 協力するライオン・リーダー |
|-----------|-------------------|
| ● 複合地区チーム | ガバナー協議会および協議会議長 |
| ● 地区チーム | 地区ガバナーおよび地区キャビネット |

複合地区レベル

複合地区 MERL チームは、任期の初年度に LCI が主催する訓練セミナーに参加します。メンバーは複合地区のビジョンを決定し、3年間の任期内にそれを実現するための目標を設定します。チームの任務は、ガバナー協議会の助言を受けて遂行されます。



地区レベル

地区 MERL チームは、複合地区 MERL チームによる指示、訓練、刺激を受けます。地区の優先事項は、複合地区の目標と行動計画に基づき設定されます。地区は個別の目標に応じて、その他の優先事項を定めることもできます。地区 MERL チームは、地区ガバナーおよび地区キャビネットと協力して任務を遂行します。

地区 MERL チームの目標と短期目標は、あくまでも複合地区 MERL チームが定めた全体的な方向と優先事項に従って設定されます。複合地区の内部では同一の方向を目指すことが重要であり、仲間の努力と活力は MERL 委員長に利益をもたらすはずでず。例えば、複合地区内の地区が協力して実施する広報プログラムは、複合地区全体の認識を高めます。複数の地区が同じ報道機関に取り上げられる場合には、それぞれの地区内クラブの広報活動を調整する必要があるでしょう。

戦略的計画サイクル

このセクションでは、分析、ビジョンと目標の設定、点検/評価によって構成される戦略的計画サイクルを取り上げます。傾向/データの分析、ビジョンの文章化、3年間の目標/短期目標、行動計画、点検プロセスについて、それぞれ以下に説明しましょう。

データと傾向の分析

環境的・構造的な傾向と現在および過去の会員データの分析は、計画立案の第一段階です。分析するデータの種類は、地域の人口統計、商業傾向、LCIの会員概要、他の非営利組織の年次報告などです。

情報は、地区内ライオンズクラブの長所と短所、クラブに影響を及ぼす脅威や機会を見極める上で不可欠です。各地域における社会奉仕のニーズを評価し、それに応えるために必要なクラブ数を考えましょう。奉仕を必要とする場所や町、十分な会員数も見極めます。

ビジョンの決定

分析の結果に基づき、それぞれの地域についてライオンズクラブの理想的な将来像を描きましょう。ビジョンはMERLチームの役割（会員、エクステンション、会員維持、指導力育成）に応じて、それぞれに文章化するべきです。チームのビジョンは、これらの4つのビジョンに基づき決定されます。

MERLチームのビジョンのサンプルは以下に示した通りです。目標はビジョンを反映し、将来像の実現を支援するものであるべきです。

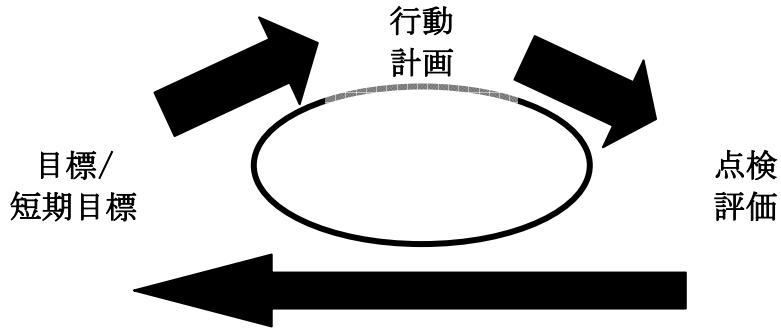
MERLチームのビジョン

ビジョンとは実現を目指すべき望ましい将来像であり、文章として明確化する必要があります。チームの全メンバーが共有し支援するビジョンは、包括的、詳細、建設的で、意欲を喚起するものであるべきです。以下にその例を示しましょう。

「私たちは地区MERL委員長としての3年間の任期中に、地区の他の委員長、ガバナー、リジョンおよびゾーンのチェアパーソンを含め、協調的な指導者チームの構築を目指す。このビジョンは、定期的な情報交換による互いの業務の改善、目標の設定、地区全域における一連の総合的・専門的な短期指導力育成セミナーを通して実現させる。私たちは会員の5%増を達成すべく、上記のすべておよびその他の方法を通して指導者の水準を高め、新会員の確保と新クラブの結成によって会員を増強し、会員維持率を向上させる」

目標の達成

目標の達成は、より焦点の明確な短期目標の設定に始まる周期的なプロセスです。それぞれの短期目標には、達成に向けた行動計画が必要です。また、年度の間中に修正、期限の延長、優先順位の再設定を行えるよう、目標/短期目標の達成度と進行状況は定期的に点検すべきです。



目標を管理する上で、点検は不可欠なプロセスです。年度の途中で成果が不十分であったとしても、行動計画や目標/短期目標に修正を加えれば、その達成を断念する必要はありません。目標管理の詳細については、LCI ウェブサイトのコース「目標の設定」を履修するとよいでしょう。

目標 - 短期目標 - 行動計画

目標、短期目標、行動計画のサンプルを用いて、目標設定のサイクルをたどってみましょう。目標文は具体的・評価可能・達成可能・現実的で、期限を伴うものであるべきです。次の例を見て下さい。

2011年4月1日までに、SE地区に15のクラブを結成させる。

この目標には、行動が具体的に明記され、15というクラブ数はチームにとって評価可能・達成可能・現実的であり、2011年4月1日という明確な期限も設定されています。

目標の決定を受けて、その達成を支援する具体的な短期目標を設定します。個々の短期目標は、目標文と同じ形式に従うべきです。以下に**短期目標**のサンプルを示しましょう。

- 2008年9月30日までに、ドレーク大学に学内クラブを結成させる。
- 2008年11月1日までに、都市圏に2つの新世紀クラブを結成させる。
- 2009年4月1日までに、3つのライオネス・ライオンズクラブを結成させる。
- 2009年10月1日までに、グランドビルにレオ・ライオンズクラブを結成させる。
- 2009年11月1日までに、都市圏に特定の目的を有する4つのクラブを結成させる。
- 2010年9月30日までに、都市圏に2つの女性クラブを結成させる。
- 2011年2月25日までに、サウスビレッジに家族を焦点とするクラブを結成させる。
- 2011年3月1日までに、ノース専門学校に学内クラブを結成させる。

それぞれの**短期目標**には、**行動計画**が必要です。行動計画には、順次とるべき個々の行動、その方法、責任者、期限、完了による成果を明記します。以下に使用した行動計画表は、資料に含まれています。サンプルは行動計画の1ページ目で、「2008年11月1日までに、都市圏に2つの新世紀クラブを結成させる」という短期目標に関するものです。

| 行動 | 方法 | 責任者 | 期限 | 成果 |
|------------------|---|--|------------------|----------|
| 9月25日に地域健康博覧会を開催 | 1. 医療専門家とライオンズクラブに連絡し、行事運営の支援を要請 2. 学校、企業、地域行事日程、報道機関の窓口に情報を提供し、参加を奨励 3. ライオンズクラブに関する情報を社会に提供し、新会員を確保 | ゾーン・チェアパーソン、視力ファースト委員長、糖尿病教育委員長 PR委員長 | 8月20日 | 人員配置の完了 |
| | | | 9月10日 | 参加者2000人 |
| | | 9月25日 | 会員候補者リスト | |
| 商用ビルにコーヒーを提供 | 1. ビルの管理者に連絡し、同意を確保 2. 目の健康と糖尿病に関する情報を提供 ライオンズに関する情報を提供 | ゾーン・チェアパーソン、会員委員長 | 9月10日 | 会員候補者リスト |
| | | | 9月15日～ 10月10日 | |

チームの発展

チームは、4つの発展段階をたどって成長していきます。それぞれの段階を理解し認識すれば、チームを速やかに機能段階まで到達させることができるはずです。既に機能段階への発展を遂げていたとしても、チームに新たなメンバーが加われば、第2段階や第3段階の徴候が見られる場合もあるでしょう。

第1段階 - 形成

メンバーの選定に当たっては、以下の要素を考慮すべきです。

- 職責に適した経験と技能
- チームに加わることへの興味
- 組織に対する忠誠と意欲
- 優れたコミュニケーション能力
- 優れた対人関係能力
- 他のメンバーとの性格的相性

第2段階 - 動乱

メンバーは当初、組織における勢力を争い、経験の豊かさや会員歴の長さをめぐって対立し合うこともあるでしょう。チームの成長過程では一般に紛争が生じるものですが、それは耳を傾ける技能や協力的な問題解決によって解消できます。チームの目的/ビジョンと目標の達成のみに集中することにより、個々のメンバーはチームを重視する姿勢を高めていくはずです。

第3段階 - 規範設定

メンバーが個々の責任を自覚するにつれて、紛争は減っていきます。チームは互いに自信、信頼、尊敬を深めながら成長を遂げていくはずです。彼らは最善のコミュニケーション方法を習得し、互いの技能と経験をチームの財産と考えるようになるでしょう。

第4段階 - 機能

チームへと発展したグループには、チームとしての思考や行動が見られます。メンバーはチームと一体化し、その成果に誇りを抱きます。彼らはチーム目標の達成に向けて、遅れている作業に各自の責任範囲を超えて手を貸すようになるでしょう。

効果的なチームは、以下の特徴を備えているはずです。

- √ **参加** メンバー全員が積極的に参加しているか？ 作業の完了に向けて役割分担がなされ、チームとしての連帯感が生まれているか？
- √ **助言** 助言が率直かつ自由に交換されているか？ 助言の性格は建設的か？
- √ **決定** メンバー全員の意見に基づき、決定が行われているか？ メンバーは課題や問題について話し合っているか？
- √ **紛争** メンバーは各自の感情を率直に表現できるか？ チーム内の紛争の解決に向けて、彼らは正面から取り組んでいるか？
- √ **リスク負担** メンバーは課題に立ち向かい、創造性を発揮しているか？ ミスは学習の機会として生かされているか？
- √ **指導力** 指導者は協力的か？ メンバーは指導的な役割を分担しているか？

チームとしての活動

このセクションでは、チームとして協力する方法を取り上げます。貴重な時間を最大限に生かすことができるよう、チームは必要に応じて会議を開き、その他のコミュニケーション手段を可能な限り活用しなければなりません。

会議

チームの全メンバーが意見を述べ合う機会として、例年の計画会議は不可欠です。この会議では、今後の目標の検討や過去の目標の修正、目標の決定、その達成に向けた年間短期目標の立案、目標と短期目標を達成するための取り組みについて検討します。

年度の中間に開かれる評価会議は、成果を点検し、必要に応じて短期目標を修正し、成果の達成に向けてチーム・メンバーを支援するために役立つはずで

共通の目標

例えば、「18ヶ月以内に会員の25%増を達成する」などの目標は、すべてのMERL委員長が共通に目指すべきものです。会員委員長とエクステンション委員長は新会員の確保を目指し、会員維持委員長と指導力育成委員長は個々の会員が積極性と充実感を失うことのないよう、彼らのニーズを満たそうとするからです。委員長はそれぞれの役割に応じて、この目標を焦点とする個別の短期目標を持つことになるでしょう。

各委員長はチーム目標の達成に向けて、役割別の短期目標を設定しなければなりません。例えば短期目標によって、新クラブの指導者の訓練を目指すとします。その時期は、新クラブの結成や新会員の確保に関する短期目標の達成によって左右されることになるでしょう。したがって、一連の短期目標を遅滞なく達成するには、メンバー間のコミュニケーションが不可欠です。

日程のサンプル

第1 四半期：7月～9月

具体的な日程と各行動計画の責任者を含め、本ライオンズ年度の目標を確認し行動計画を立案するチーム会議に出席

第2 四半期：10月～12月

目標達成への意欲を維持するため、進行状況を点検し戦略を検討
成果を伝達および賞賛

第3 四半期：1月～3月

引き続き進行状況を点検し、目標達成に向けて課題の解決策を検討
会員データ概要を確認
修正または優先順位の再設定に向けて目標を再評価
地区または複合地区大会に向けて報告書を作成

第4 四半期：4月～6月

地区または複合地区の行事で個々の会員の功績を表彰
次期ライオンズ年度の目標を設定

コーチング

あらゆるチームが最大限に能力を発揮する上で、コーチングは不可欠な役割を果たします。メンバーの1人が期限内に業務を完了できなかったとしたら、それはチーム目標の全体的な達成状況に影響を及ぼすことになるでしょう。コーチングは、特定の目標の達成に最善を尽くことができるよう、個々のメンバーを力づけるプロセスです。小委員会と協力して作業を進める場合には、数人の会員にコーチングを用いる必要があるでしょう。

コーチングとは何でしょうか？ それは、目標の達成を目指して段階的に進められる計画的なプロセスです。相手の会員は解決策を自ら発見することにより、改善と成功への意欲を高めます。

優れたコーチングは、以下の要素を備えているはずで

- 相手との信頼関係を築くことで、成果を率直に検討し合える安全な環境を醸成する。
- 相手の長所に基づく戦略と計画を立案し、活用する。
- 対話を妨害されることのないよう、気楽で静かな場所を見つける。
- 相手の話に耳を傾け、意見を交換することで互いのコミュニケーションを図り、行動または解決策について合意する。
- 目標が達成されたと確実に合意できるまで努力を続ける。

ライオンズ学習センターのオンライン・コース「コーチング」の説明に従い、以下に5段階の有効なプロセスを紹介しましょう。

1. 問題の原因となっている行動を見極め、相手がそれを克服できることを確認する。
2. 短期目標の達成を妨げている対人関係や環境について説明する。
3. 望ましい業務のあり方を例示し、それについて話し合うことにより、相手の業務を強化または修正する。
4. 行事や具体的な日程について、行動計画の改善に合意する。
5. 合意した具体的な行動計画を追跡する。

合意した行動計画は、行動計画表に記録します。

コーチングの詳細については、LCI ウェブサイト、ライオンズ学習センターのオンライン・コース「コーチング」を履修するとよいでしょう。

コミュニケーション

電子メール、ファックス、電話による継続的なコミュニケーションは、他のチーム・メンバーに短期目標の達成状況を伝達し、課題の克服に向けて支援を求める最善の方法です。行動計画、成果、随時発生するあらゆる問題について定期的に情報を交換すれば、チーム・メンバーの協調と意欲は大いに高まることになるでしょう。

MERL チームとチーム・コーディネーターのコミュニケーションは、例えば以下の点で有効です。

- プログラムや会員増強の成果について、新たな情報や付加的な情報を提供する。
- 成果の向上に対する動機と意欲を高める。
- 短期目標を達成するための今後の活動や期限に向けて、チーム・メンバーの注意を喚起する。
- 課題に対処するため、資源の提供や創造的な解決策の提案を求める。
- 地区ガバナー、協議会議長、グローバル会員増強チームまたはLCI に対する定期報告の情報を収集する。

チームのコミュニケーションは、総じて積極的、建設的、協力的、正確なものであるべきです。

MERL チーム・コーディネーター

チームの一員またはその他の有能な会員は、MERL チーム・コーディネーターに就任できます。その目的は、効果的な方法でチームを支援し、メンバーの意欲を高めることです。コーディネーターは、会議の日程を定め、電話、ファックス、電子メールによる継続的な情報交換を維持することで、MERL チームのコミュニケーションを確保します。また、チーム全体と役割別の目標、短期目標、行動計画の立案を支援すること、チームと複合地区協議会・地区キャビネットとの連絡窓口を務めること、メンバーによる行動計画の実施を支援することも、コーディネーターの役割です。更に、会員や指導力育成に関する新たなプログラムの最新情報を確保し、チーム・メンバーに伝達することも大切です。

年間計画会議と評価会議は、毎年実施するべきです。チームは前年度の短期目標や行動計画の成果を評価することで、次年度に向けて新たな短期目標を立案できます。短期目標が設定されれば、詳細な行動計画の立案も可能となります。

年間短期目標と行動計画の達成状況を点検し、目標を適切に管理できるよう、中間会議を開くことも大切です。時には新たな機会が生じ、別の手段による短期目標の達成が可能となることもあるでしょう。例えば新世紀クラブを結成する代わりに、クラブを基盤とする作業グループを組織してもかまいません。詳細な情報や状況の変化に応じて、年度の途中で計画を部分的に変更することもできるでしょう。

次ページに、MERL チーム・コーディネーターの職務内容を示します。

MERL チーム・コーディネーターの主要な責務

MERL チーム・コーディネーターは、MERL チームの協力と円滑なコミュニケーションを支援および促進する任意の役職です。MERL チームの一員またはその他の有能な会員は、この役職に就任できます。

目標の設定

1. 会員の増強に向けたチーム全体の目標と役割別の目標を立案できるように、MERL チームを支援する。
2. 必要に応じて行動計画の立案と実施を支援する。

コミュニケーション

1. 年間計画会議を始めとする定期会議の日程を定めることにより、MERL チームのコミュニケーションを確保する。
2. チーム全体と役割別の目標の達成に向けて、円滑な情報交換を助長する。
3. 地域の指導者およびグローバル会員増強チーム・リーダーとの協力を促進する。

年間短期目標

1. 年間計画会議を含む定期的な MERL チーム会議の日程を定め、参加することにより、進行状況を評価し成果を賞賛する。
2. チームが目標を設定し、その達成に向けて行動計画を立案できるように支援する。
3. MERL の資料と進行状況に関する最新情報を継続的に確保および伝達する。
4. 電話、ファックス、電子メール、会議を通じて、MERL チームとのコミュニケーションを図る。
5. MERL チームの全任期を通じて、支援を提供し意欲を向上させる。

MERL チーム・コーディネーターは、地区チームの場合には地区ガバナーによって、複合地区チームの場合にはガバナー協議会によって任命されます。

資料

このセクションでは、会員データ概要などの新たな資料を含め、チームの全メンバーが活用できる資料と訓練に対する資金援助について説明します。

出版物

MERL チームの役割別の職務と責任を説明した手引は、ウェブサイトまたは LCI への請求によって入手できます。LCI 本部では、新たに任命された MERL 委員長の連絡先情報入手し、各委員長にそのコピーを配布します。その他の出版物については、下記の適切なアドレスに電子メールでご請求下さい。

資料の請求先

- 指導力 leadership@lionsclubs.org
- 新クラブの結成 newclubs@lionsclubs.org
- 地区によるクラブ支援 leadership@lionsclubs.org
- 健全クラブの道具箱 memberops@lionsclubs.org

会員データ概要

この概要報告書は、短期目標の成果を評価できるよう、MERL チームのメンバーに対して四半期毎に電子メールで送付されます。報告には、複合地区の会員データ概要と地区別の詳細な統計が含まれます。

アワード：

MERL チームのメンバーや小委員会の意欲を維持する上で、献身的なボランティア奉仕に対する表彰は不可欠です。成果の達成には長時間の労力が必要であり、努力を継続させるためには功績を賞賛する必要があります。出版物「LCI アワードおよび表彰ガイド」には公式アワードが網羅され、読みやすい小冊子「表彰の芸術」には公式・非公式の表彰の重要性が説明されています。双方の出版物は、LCI のウェブサイトを通して入手できます。

LCI の各課：電話：630-468-XXXX

会員：会員オペレーション課、内線 6734、E メール：memberops@lionsclubs.org

エクステンション：新クラブ及びマーケティング課、内線 6937、E メール：newclubs@lionsclubs.org

会員維持：会員オペレーション課、内線 6734、E メール：retention@lionsclubs.org

リーダーシップ：リーダーシップ運営課、内線 6797、E メール：leadership@lionsclubs.org

終わりに

皆さんは、ライオニズムの将来を大きく左右する、困難ながらもやりがいのある役割を引き受けました。



小さな蛙と塔の話聞いたことがあるでしょうか。蛙たちには塔に登るという試練が課され、誰もがそれを難しいことだと考えていました。蛙は一匹また一匹と試みては失敗します。しかし、最後の蛙はどこまでも登り続け、とうとう頂上に到達することができました。驚いた人々はみな、他の蛙がすべて失敗したのに、なぜ最後の蛙だけが成功したのかといぶかりました。結局、この蛙は耳が聞こえなかった、という事実が判明します。彼は「登り切るのは不可能だろう」という群集の声を聞くことができなかったのです。

失敗すると思えば、確実に失敗することになるでしょう。

チームとして、また個人として協力するためには、建設的な態度と高い意欲を持ち続けることが大切です。以下の格言に目を通し、机や電話の傍に貼っておいてはいかがでしょうか。

「指導者とは恐れを知らず、勝目がないなどとは考えもしない夢想家である。彼らは不可能を可能とする」 ロバート・ジャービック博士、人工心臓の発明者

「何度失敗を繰り返したとしても、それは問題とはならない。むしろ、挑戦を怠ることこそ問題なのである」 不詳

「細かい作業に分ければ、何事も難なく達成される」 ヘンリー・フォード、米国の発明家、自動車製造業者

「指導力とは、ビジョンを現実に変える能力である」 ウォーレン・G・ベニス、実業家

「献身的な人々の小集団には、疑いもなく世界を変える力があります。事実こうした人々によってのみ、改革は成し遂げられてきたのです」 マーガレット・ミード、人類学者

「成果とは、概して意欲と熱意を着実に高め続けることによって達成される」 ジャック・ニクラウス、プロゴルファー

「『時間が無い』などと口にしてはいけません。ヘレン・ケラー、パスツール、ミケランジェロ、マザー・テレサ、レオナルド・ダ・ビンチ、トーマス・ジェファソン、そしてアルバート・アインシュタインにとっても、1日は24時間と決まっていたのだから」

H・ジャクソン・ブラウン、ニューヨークタイムズ紙の作家

「強い熱意を持って取り組めば、常に高い成果が達成される」 ジャック・キンダー

「一握りの松の種があれば、山々を荘厳な緑の森で覆うことができるだろう。私も風に向かい、一握りの種を高く飛ばそう」 ウィリアム・シャープ、作家

MERL 1.JA